

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 3 組

教科担当者： （ 1 組： 糸井/原口 ）（ 2 組： 糸井/原口 ）（ 3 組： 糸井/原口 ）

使用教科書： （ 教育図書 Survive!! 高等学校 家庭基礎 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとしたりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 消費生活・環境 【知識及び技能】 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性を理解し、生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自律した消費者として、生活情報を活用し適切な意思決定を行い、消費生活に関する課題を解決する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しよりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組む、家庭生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○指導事項 ・成年年齢引き下げ ・契約と消費者トラブル ・消費者の意思決定 ・生活費と家計 ・様々な支払方法 ○教材 ・教科書 ・ワークシート ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出 ・情報の収集	【知識・技能】 ・契約するときの注意点、契約における未成年と成年の法律上の責任の違いについて理解している。 ・様々な支払方法について理解し、使用について計画的に考えることができる。 ・クーリング・オフ制度や多様な契約の仕組みや使い方を理解している。 ・消費者生活センターのHPなどから正確な情報、被害防止策についての情報を適切に収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見出して課題を設定し、課題解決に向けて考え工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの消費行動における意思決定や契約の重要性について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	2章 衣生活 【知識及び技能】 衣服の主な機能について理解し、手縫いの基本的な縫い方（刺し子）とミシンを使った縫製を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な被服管理の方法について理解し、機能性や快適性について解決策を考察し実践を評価改善し論理的に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	○指導事項 ・衣服の表示 ・衣服の手入れ・管理 ・刺し子、ミシン ○教材 ・教科書 ・ワークシート ・裁縫用具、ミシン ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出	【知識・技能】 ・被服材料、被服衛生について理解し、被服の管理が適切にできる。 ・手縫い、ミシンの基本的縫製について理解し、適切に縫製できる。 【思考・判断・表現】 ・被服の機能性や快適性について、解決策を構想し実践したことをレポートにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し実践しようとしている。	○	○	○	13
	4章 住生活 【知識及び技能】 住居の平面図を読み取ることができ、各自のライフステージに応じた住居の条件について考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 平面図や平面表示記号の見方を知り、快適な住まいについての希望や考えをレポートにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に災害対策課や家庭内事故を防ぐ方法について考察し、課題の解決に取り組もうとしている。	○指導事項 ・間取り、平面表示記号 ・安全な住まい、防災対策 ・快適な住まい（自分に合った住まい） ○教材 ・教科書 ・ワークシート ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出 ・情報の収集	【知識・技能】 平面図、平面表示記号を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 住居の機能性や快適性について考察し、レポートにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭内事故や防災などの安全に配慮した住生活について考察し、よりよい生活の工夫を創造し、実践しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	3章 食生活 【知識及び技能】 栄養素の働きについて理解し、日々の食事の重要性や食事を共にすることの意義について考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食事の重要性や健康との関係を知り自分の食生活を振り返り課題を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の食生活に関する課題に対して改善策を考え、主体的に取り組むことができる	○指導事項 ・食事と健康との関わり ・PFCバランス ・栄養素と主な食品 ・食品の衛生と安全について ・食事のマナーについて ・現代の食生活の問題や課題について ○教材 ・教科書 ・ワークシート ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出 ・情報の収集	【知識・技能】 青年期にける食事の重要性、食事を共にすることの意義について理解している。 栄養素について理解している。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の性質について理解し、健康に配慮した食生活について考察し課題を設定できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活と健康について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	第5章 子どもの保育 【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達の特徴について理解する。 基本的生活習慣や社会的生活習慣の重要性について理解する。 子どもの健康と安全について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの身体的発達の特徴、発達の順序性にと個人差について理解し、段階にあった衣類や食生活について考察しまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健康を支える制度や子どもの事故について理解し、主体的に子どもの健康と安全についての改善策に取り組むことができる。	○指導事項 ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子育て環境 ○教材 ・教科書 ・ワークシート ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出 ・情報の収集	【知識・技能】 乳幼児の心身の発達と生活について理解している。 乳幼児と適切に関わることができる。 【思考・判断・表現】 子どもの健やかな発達のために地域や社会の果たす役割について問題を見出して課題を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第6章 高齢期の生活 【知識及び技能】 高齢者の特徴について理解する。 介護や認知症について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の多様性に気づき、高齢者の生活支援について知り、介助の基本を身につけ、改善策を考察したことをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者を取り巻く社会の課題について理解し、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	○指導事項 ・高齢期を理解する ・高齢者の生活を支える仕組み ○教材 ・教科書 ・ワークシート ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出 ・情報の収集	【知識・技能】 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境について理解している。 高齢者の自立生活の支援や介護について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活、家族や地域及び社会の果たす役割について問題を見出して課題を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第7章 共生社会 【知識及び技能】 共生社会の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 共に支え合って生活することについて、解決策について構想し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 共生生活と福祉について、課題解決にめけた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	○指導事項 ・共生社会とは ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン、ノーマライゼーション ○教材 ・教科書 ・ワークシート ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出 ・情報の収集	【知識・技能】 生涯を通して、家族・家庭の生活や支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって生活することについて課題を設定できる。	○	○	○	6
	第8章 生活設計 【知識及び技能】 社会の変化に伴う家族の変化について理解する。 家族に関する法律について 【思考力、判断力、表現力等】 家庭を支える家事労働職業労働について理解し、問題を見出して解決策を考察しまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族家庭について、課題解決に向けた活動を振り返り改善しようとしている。	○指導事項 ・家族について ・婚姻について ・多様化する暮らし方 ・職業労働 ・ワークライフバランス ○教材 ・教科書 ・ワークシート ○一人1台端末の活用 等 ・資料等の配布 ・課題等の提出 ・情報の収集	【知識・技能】 家族・家庭の機能と家族関係について理解している。 【思考・判断・表現】 家族・家庭の問題解決に向けた一連の活動に考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族家庭について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							78